

芳川
地域づくり
ニュース

〈発行〉
 令和4年3月
 芳川
 地域づくり協議会

芳川地区の
 イメージキャラクターは



シカセギン

地域づくり協議会及び子ども会育成会などで芳川小・開明小、才教学園(芳川在住者) 4、6年生を対象に芳川地区のイメージキャラクターを募集しました。

芳川っぽいと思うものなら何でもOKとして、児童たちに芳川ってどういう地区なのかを考えてもらいました。田んぼや四ヶ堰、野溝ほうきなど思い思いの芳川のイメージを持ったキャラクターが集まり、応募総数33点の中から、最優秀作品1点、優秀作品2点を決定しました。

- ◆ 最優秀作品
シカセギン
牛越 七緒さん(芳川小4)3
- ◆ 優秀作品
しぜりん
堀内 佑美さん(芳川小5)3
まいまい
美野 心奏さん(芳川小4)3

今後、最優秀作品のシカセギンは芳川地区のイメージキャラクターとして、地域の刊行物等へ掲載していきます。

また、この事業は次世代が地域を知るための機会と捉え、定期的に開催していく予定です。

芳川モデル地区の取り組み

令和3年度、芳川地区は地域づくりセンター強化モデル地区に指定されました。

重点課題である「働き世代等、若い世代の地域参加促進」に取り組む中で、働き世代の地区住民、地区内高校生、市内大学生が集まり、芳川いきいきプロジェクトチームが発足し、地域課題の解決に向けた検討事業が実施されました。

秋にはチームの初企画「住民同士の交流機会の創出とコロナ禍での閉塞感からなるストレスの解消



を目的に、「芳川まるっと青空市」が平田公園で開催されました。多くのご家族が公園に集い、子どもたちの笑い声があふれ、久しぶりに会った方と歓談されている様子が見られ大盛況でした。今後このイベントは各町会を会場に開催予定です。



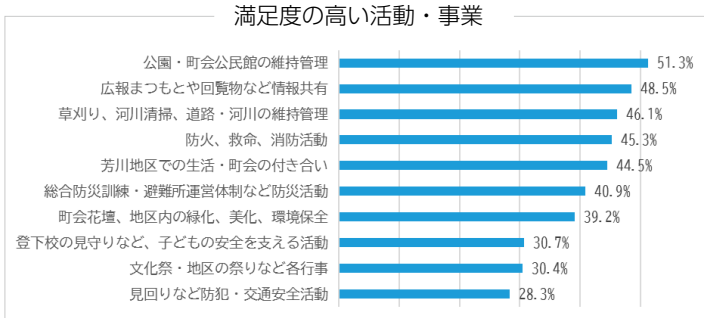
また、「野溝ほうき」の後継者不足が課題であることから有志の方々により技術の保存、後継者の育成に向けた取り組みも始まりました。



これらの取り組みは、地区住民の方々も一緒に参加でき楽しめる活動にしていきます。



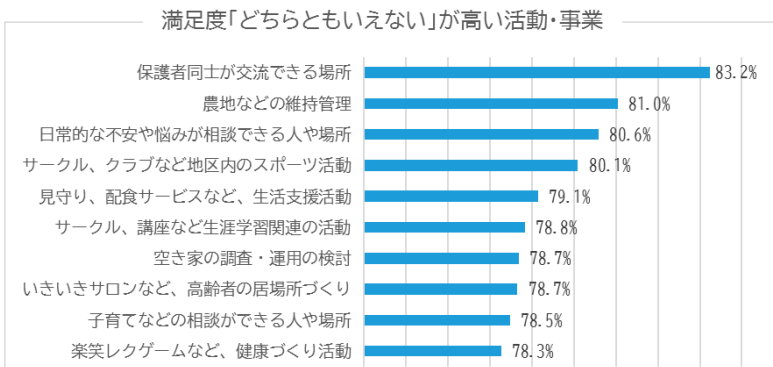
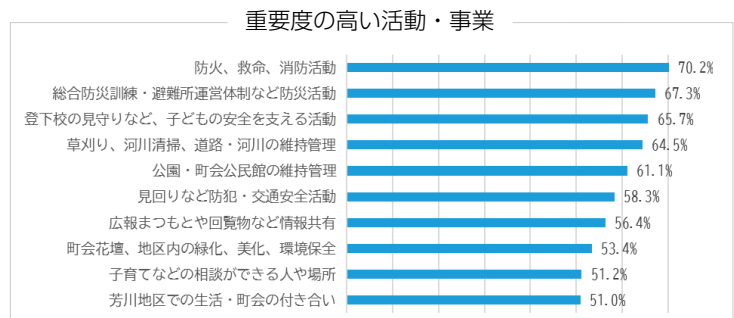
地区・町会実施の活動・事業に対する満足度・重要度



地区・町会実施の活動・事業に対する満足度については「公園・町会公民館の維持管理」が上位で、町会での清掃活動等が高い満足度に繋がっていることがうかがえます。

広報まつもとや回覧物について、紙の削減も検討していくべきですが、現在の状態で満足されている方も多いようです。

一方、重要度が高いのは「防火、救命、消防活動」次いで「防災活動」が上位となっており、災害への関心度の高さがうかがわれます。満足度にはない「子育てなどの相談ができる人や場所」が10位圏内に入っており、子育て世代への取組みの必要性があると言えます。

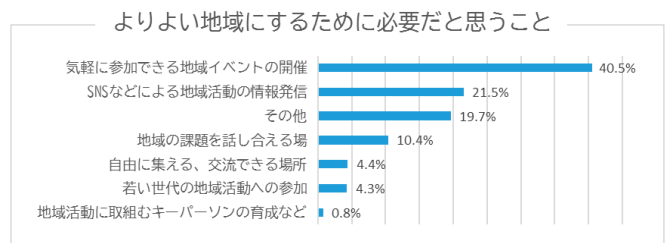
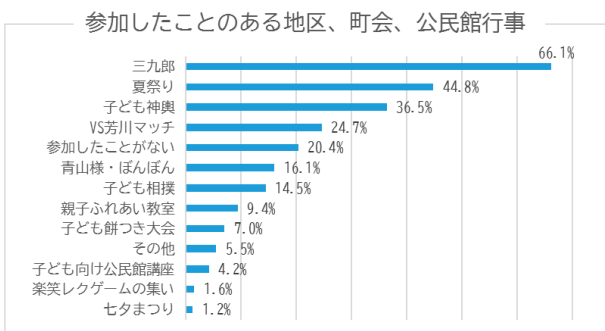


各設問の「どちらともいえない」では、広報が不十分で認知されていない、暮らしの中で身近に感じていないと思われる活動や事業などが、高値で選択されたものと思われる。

これらについては、今後地域づくりに取り組むうえで、検討が必要です。

また、既存事業についても内容を検証していく必要があることが分かりました。

芳川地区地域づくりアンケート・園児・児童・生徒保護者(抜粋)



参加したことがある行事については、群を抜いて「三九郎」が選択されており、子ども達にとって大切な行事であると言えます。「参加したことがない」の中には、学区の違いから参加しづらいという回答があり芳川地区特有の課題を検討していく必要があります。

地域のために必要だと思うこととして「気軽に参加できる地域のイベント開催」が40%を占めており、地域との交流については気軽であることを求めていることがうかがえます。更に、保護者世代への情報発信にはSNSの活用なども工夫していくことが求められています。

芳川地区地域づくりアンケート結果（抜粋）

芳川地域づくり協議会発足から6年が経過するため、今までの活動の評価と、地域課題の変化や新たな課題など現状の把握、情報共有を目的とし、町会加入世帯及び、保育園、小学校、中学校保護者を対象にアンケートを実施しました。

○実施方法○

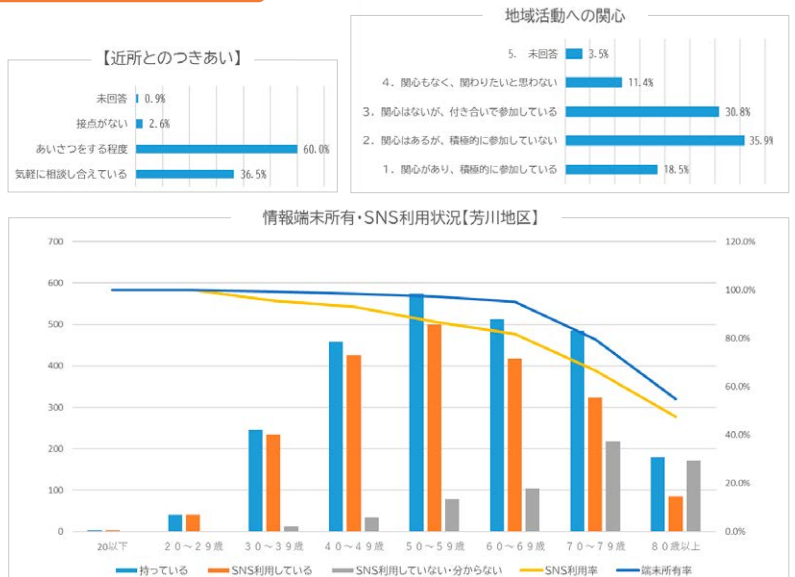
- (1) 対象
 - ① 芳川地区町会加入世帯の方（全世帯） 5,313 世帯
 - ② 保育園・小学校・中学校の園児・児童・生徒保護者 1,737 世帯
- (2) 実施期間 令和3年9月1日～9月30日
- (3) 実施方法
 - ① アンケート用紙の配布及び回収は、町会、保育園、小中学校を通じて実施
 - ② ながの電子申請サービスを利用しアンケート用紙にQRコードを掲載しWEB回答を実施
- (4) 調査項目
 - ① 町会加入世帯用
 - ア パソコン、スマートフォン、タブレット端末の所有及び SNS の利用について
 - イ 地域活動への関心
 - ウ 地区・町会実施の活動・事業に対する満足度・重要度 など 19 項目
 - ② 園児・児童・生徒保護者用
 - ア 参加したことのある地区、町会行事、公民館行事について
 - イ 芳川地区をよりよい地域にするために必要だと思う事 など 21 項目
- (5) アンケート回収結果（ ）内は、WEB 回答数及び回収数に対する WEB 回答率

町会名	配布数	回収数	回収率
村井町	1,450	762 (182)	52.6% (23.9%)
小屋	830	520 (82)	62.7% (15.8%)
野溝	905	460 (60)	50.8% (13.0%)
平田	797	345 (68)	43.3% (19.7%)
美芳町	169	130 (22)	76.9% (16.9%)
長丘町	133	83 (13)	62.4% (15.7%)
北原町	580	343 (52)	59.1% (15.2%)
木工	449	208 (50)	46.3% (24.0%)
町会合計	5,313	2,851 (529)	53.7% (18.6%)
園児・児童・生徒保護者	1,737	883 (131)	50.8% (14.8%)

芳川地区地域づくりアンケート・町会加入世帯（抜粋）

近所とのつきあいについて、上位は「あいさつをする程度」ですが「気軽に相談し合っている」も4分の1以上あり、近所づきあいを大切にされている様子がうかがえます。また、地域活動への関心についても、仕事の都合を理由に積極的に参加できていないが、つきあいは大切にしたいという回答が多くありました。

年齢が高くなるにつれ、情報端末の所有率は減少していきませんが、町会によっては所有率は低い値であっても、所有している人の SNS 利用率は高い町会もあり、高齢者向けのスマホ講座を実施することで、より高い利用率になることが見込まれます。





社協だより

よしかわ

〈発行〉
令和4年3月
芳川地区
社会福祉協議会

会長挨拶

芳川地区社協

支会長 松本 寿行



「菜の花畑に入日うすれ：」ようやくこの歌のような季節になり、気分も明るく、体も動かしたくなりますね。みなさん、コロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか。

日頃、地区社協の活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。本年度は、新型コロナウイルス感染症防止対応に追われた1年でした。また、芳川地区地域づくりセンターが、松本市35地

区の地域づくりの強化を図るためのモデル地区に設定され、予算や人員体制が拡充されました。地区社協も本年度は地区生活支援員が配置され、地域福祉促進、高齢者への事業を強化するため、ボランティア組織の育成・強化、各町会でのサロン事業の開催、見守り体制強化や各種研修会等を予定していました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業の自粛をよぎなくされ、ほとんどの事業が休止や延期をせざるを得ませんでした。

今後は、地域福祉の向上のため地域づくりセンター、関係団体等と連携



ごあいさつ

芳川地区生活支援員
新村 朋子

を図りながら地区の皆さんの一層のご支援ご協力をいただきたいと考えっております。

今年も、地区の社会教育施設、生涯学習の場である公民館、福祉ひろば、芳川体育館を大いに活用し、普段のストレス解消、健康づくり、仲間づくり等で楽しみませんか。

昨年4月より芳川地区の生活支援員として配属されました新村です。帯で庭の草取りが出来ないから誰かにお願いしたいけど、どこに相談すれば良いですか？」というご相談がありました。

生活支援員として、最初は何かから取り組んでいけば良いか全くわからず戸惑っていましたが、まずは地域のことを知るところから始めてみようと思いい、いろいろな地域活動にお伺いさせていただき、参加する皆さんと会話する中で困っていることや不安なことを聞くところからスタートしました。しばらくすると電話で直接相談されることもあり、その内容としては、「デイサービスに行きたいけどまだ介護認定を受けていないからどうすれば良いですか？」とか「老々世

私は、地域づくりセンター内におります。いつでもお気軽にお声がけください。よろしくお願いたします。

